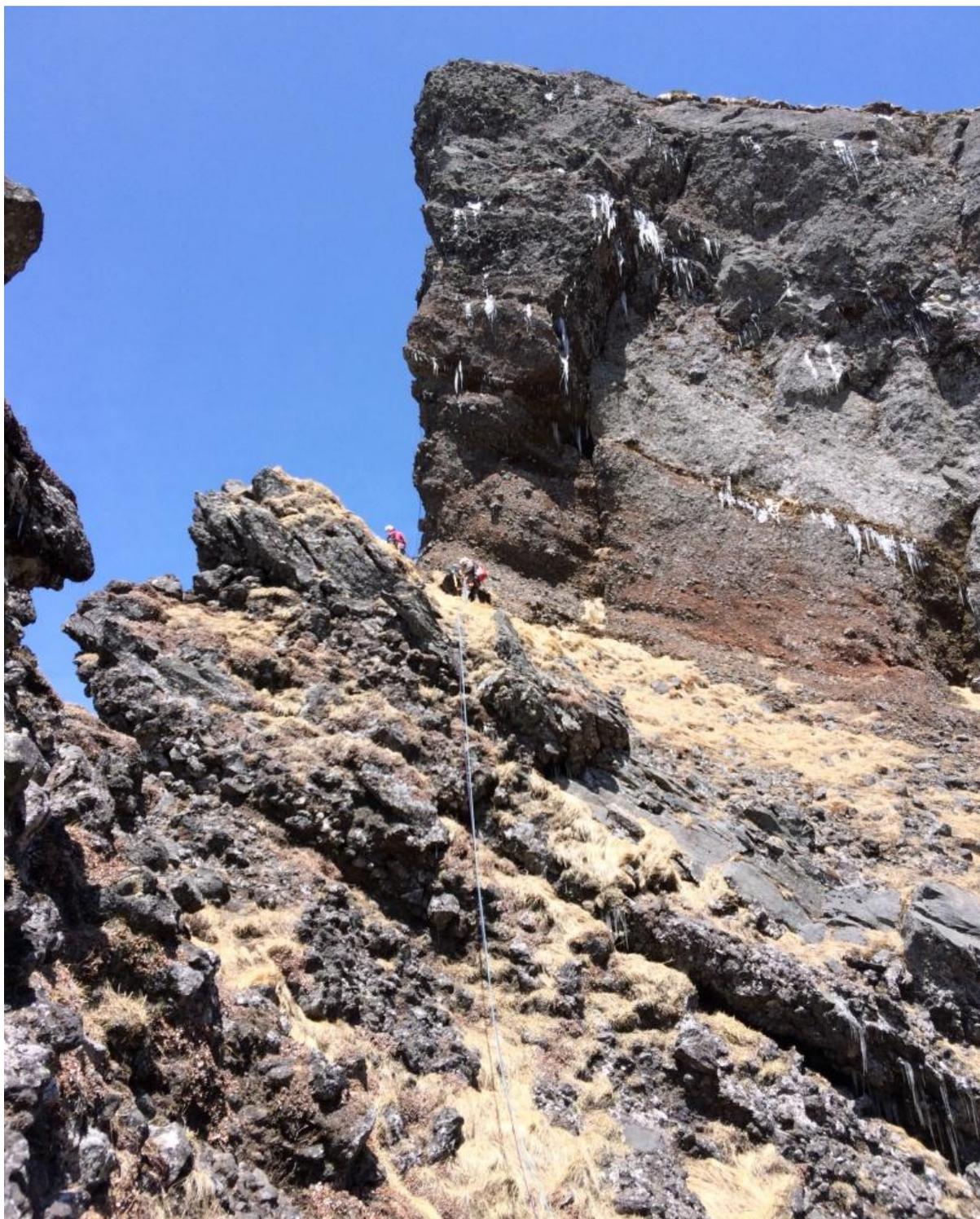


# 八ヶ岳大同心南稜ルート



大同心南稜 2 ピッチ目終了点から核心のドームを臨む

【日時・天候・ランク】

2016年4月29日～4月30日 両日晴れ 参加者6名 D-C-6(みろく山の会)

【コースタイム】

1日目：海老名駅 7：00≒11：20 美濃戸 11：30…12：20 堰堤広場 12：30…  
13：30 赤岳鉱泉（テント泊）

2日目：テン場 7：00…8:50 取付き 9:50…11:50 大同心の頭 12:20…13：35

取付き 13：50…15：00 テン場 16：00…17：25 美濃戸

### 【山行記】

29日は冬型の気圧配置のため厳しい寒さとなり、日陰の大同心正面壁雲稜ルートは氷柱や氷に覆われ登攀は難しいと判断して、予定を変更して隣の南稜から大同心頂上へ登攀することにした。

南稜は日が当たり暖かくテンションが上がって来る。1ピッチ目、左上トラバースで上がって行く。1箇所、岩を抱くような形で越えた。2ピッチ目、ホールド、スタンスが豊富なフェイスを上がるが、岩が信用できない。ここの岩は乾いていないコンクリートに石を埋めた感じだ。どれもがポロっと取れそうで、高度感より怖かった。3ピッチ目、簡単なトラバース。4ピッチ目、このルートの核心（雲稜ルートと共通）。頭上に見えるドームにトップで岩に取り付く、風が強い。岩に氷が張っていてホールドが選べない。指が冷たくなり感覚が無くなって来る。全てフリーで登ると決めていたが、残してくれたアブミを使ってしまった。最後の薄かぶりを登り、セカンドをフォローし12時10分終了。

ドームの頂上には仲間の笑顔があった。満足の行かないクライミングで終わってしまったが、次回の本チャンでもあの笑顔に癒されたい。



大同心と小同心



氷柱、氷が貼り付いている雲稜ルート



1 ピッチ目



2 ピッチ目



核心の4 ピッチ目取付き



大同心ドーム クライマーが見える



4 ピッチ目終了点



大同心頂上にて



大同心頂上からの小同心と横岳



大同心頂上から赤岳と阿弥陀岳



凍りついた岩